

普及課だより

No. 41

2016.10

東三河農林水産事務所農業改良普及課
(東三河農業普及指導センター)

〒440-0833 豊橋市飯村町高山11-40

TEL : (0532)63-3529 FAX : (0532)63-7023

HP : <http://www.pref.aichi.jp/>

nourin-higashimikawa/higashimikawa-fukyu/

新しい技術の紹介

ヒートポンプを利用した スプレーギクの夜間冷房

豊川市のスプレーギク生産において、冬季の暖房用に導入したヒートポンプを夏季の冷房にも活用する取組が始まっています。うち1戸は、「日没後短時間夜冷」による秋系品種の8月開花作型の実証に取り組みました。秋系品種は、夏秋系品種と比べ、花型のバリエーションが豊富で高い市場性があります。暑さに弱いため、お盆など夏の需要期には高品質な切り花を出荷するのが難しくなります。そこで、ヒートポンプを用いて、花芽の発達に影響しやすい日没後の数時間(短日処理のため夕方に遮光カーテンを閉めてから、深夜に開放するまでの時間帯)の温度を下げ、高温による開花遅延や奇形花の発生などの軽減を狙いました。農業改良普及課が温度データロガーを設置して調べたところ、17時30分から20時まで23℃設定でヒートポンプを冷房運転すると、電気代の増加は1晩につき200〜300円程度で、室温を対照ハウスより2〜5℃低く保てること分かりました。花芽の発達期から開花までこの方法で冷房したところ、生育開花は順調に進み、十分な品質の切り花を需要期に出荷することができました。



養豚のバイオマス発電

豊橋市多米町のN養豚場(母豚10頭一貫経営)が、全国的にも珍しい豚のふん尿を燃料としたメタンガス発電を行うバイオマスシステムを4月に稼働させました。

このシステムは、豊橋技術科学大学と畜舎やふん尿処理施設の建設を行うI研設(株)の依頼により設置されました。建設費はI研設(株)が負担し、売電により得られた利益でイニシャルコストを回収した後、N養豚場に譲渡されます。1日あたりの発電量は、600kw(30kw×20時間)で、N養豚場への譲渡は8年後を目標としています。

農業改良普及課では稼働以来、運転状況を確認しており、夏季は発電時に発生する熱が高く冷却に苦慮されましたが、発電状況やメタン発酵消化液の浄化槽処理後の水質は良好でした。

このシステムについては豊橋・碧南・田原・湖西市などの7戸の畜産農家が建設を希望しており、畜舎での電力の利用と共に、発電時の熱を利用したアボカドの栽培やキャベツ等の苗床の加温などが計画されています。



カンキツ新品種「夕焼け姫」



「夕焼け姫」は、愛知県が育成し、平成25年に品種登録されました。果皮色が濃い紅色で夕焼け空を思い浮かべること、皆に愛される品種として普及していくことを願います。

品種特性は、(1)果皮が鮮やかな紅色で、酸味が少なく、美味しい、(2)種子が無く、皮がむきやすい、(3)ウンシュウミカン「宮川早生」より約2週間早い11月中旬頃から出荷できる、(4)マルチ栽培により糖度上昇と果皮色向上が期待できる、などです。「夕焼け姫」は、今年3月から苗木の供給が始まりました。蒲郡市、豊川市、豊橋市には平成29年度までに約1,800本が導入される予定です。農業改良普及課では、適正着果量の把握や摘果剤の利用技術等の確立を目指し、関係農家及び機関と実証試験を行っています。なお、苗木については農業改良普及課またはお近くの農協果樹担当者へご相談ください。

管内農業の話題

「園芸学会アスパラガス小集会」が豊川市で開催

9月9日、JAひまわりアスパラガス部会は園芸学会アスパラガス小集会（大学・県の試験研究者で構成）23名を迎えて、現地視察及び意見交換会を開催しました。

25aの経営を行っている若手部会員のほ場を視察した後、中部管農センターに会場を移して、農業改良普及課から「JAひまわりにおけるアスパラガス栽培の現状」、続いて酪農学園大学の園田高弘教授から「アスパラガスの病害虫と対策」と題して講演があり、熱心な質疑が行われ有意義な会議となりました。



情報交換の様子

「農業法人化・雇用管理研修会」盛況に開催

8月31日、県農業経営課の主催する表記の研修会がJAあいち経済連東三河センターにて開催され、法人化や雇用管理に関心のある農業者など106名が参加しました。

研修では、農業経営コンサルタントや社会保険労務士などを講師に、法人化のメリット・デメリット、雇用に関する法規や制度、人材育成のポイントなどを学びました。

この研修は県内3か所で開催されましたが、国内屈指の農業地帯である東三河地域では、施設野菜や花き、畜産などの経営者を中心に大変多くの参加があり、講義後は活発な質疑応答がなされました。予約制の個別相談会も同時開催されましたが、希望者が多く、当初の予定時間を大幅に超える盛況ぶりでした。



農村生活アドバイザーがJAひまわり組合長との懇談会を開催

9月2日、JAひまわり本店で、権田晃範組合長と農村生活アドバイザー豊川ブロック16名が、農業の担い手確保やこれからの農業等について懇談しました。

組合長は「これからの農業は地産地消と食を大切にすることが必要」と意見しました。山本貴子ブロック長は「今回の意見交換を糧に、若い子が楽しんでできる農業を築いていきたい」と話していました。懇談会は、女性農業者の声を農協に伝える貴重な機会となりました。



あいちのぶどうコンテストにて農林水産大臣賞受賞

8月23日、平成28年あいちのぶどうコンテストが久屋大通庭園フラリエにて開催され、102点のブドウが出品されました。管内からは14点が出品され、豊橋市の生産者、藤巻淑浩氏の「巨峰（無核）」が最高賞である農林水産大臣賞を受賞しました。

藤巻氏は2年ぶり2度目の受賞となりました。

大臣賞を受賞した「巨峰」は展示され、来場者の視線を集めていました。



展示された藤巻氏の「巨峰」

普及課からのお知らせ

4Hクラブ員募集中！

4Hクラブは、20代の青年農業者のグループです。豊橋市、豊川市や蒲郡市の各市に4Hクラブがあります。4Hクラブでは、歓送迎会、地域のお祭りなどで交流と親睦をはかりながら、農業の生産技術や経営を学び、農業の課題を解決するプロジェクト活動を行っています。11月には農業青年の提言・プロジェクト発表会を行います。

お問い合わせは、お近くの4Hクラブ員または農業改良普及課まで！

